

自信のない君へ

仁賀保生は地域から愛され頼りにされている！

月曜日から中間考査が始まります。3日間の日程で行われる試練にチャレンジしてください。この土曜日、日曜日が正念場です。これまで勉強した事がないくらい頑張ったと言い切れる2日間にしてください。

5月9日(木)～12日(日)の中央支部総体における選手の頑張りに対して、敬意を表します。中間考査後の全県総体では、課題を克服してさらなる成果が得られるように祈っています。

私は、中央支部総体で各会場を回りましたが、その時に印象に残った出来事を紹介します。それは、運動部員の「あいさつ」についてです。試合には勝敗がつきものです。勝つと晴れやかになり、負けると面白くないのは人間の心情です。由利工業高校のグラウンドで行われたサッカーの試合で、本校は優勝した高校に敗れました。試合終了後に、あいさつを交わしましたが、仁賀保高校サッカー部員のあいさつは、大変立派でした。敗戦直後のあいさつにもかかわらず、主将のリードボイスの後、選手たちの声も大きく、清々しさを感じました。私が仁賀保高校の一員である事に誇りを感じた瞬間でした。

仁賀保高校に赴任して1ヶ月半が過ぎ、学校の様子や生徒のみなさんの状況も把握できつつあります。みなさんの中には、自分に自信が持てない人もいます。自分にはこれといった取り柄もなく、誰からも評価してもらえないとか、人前で話す時に、頭が真白になって何も言えないという人も多いのではないのでしょうか？

実は私は、高校時代極度の上がり症で、人前で話すことが大の苦手でした。また、文章を正確に読むことができなくて、国語の音読では間違っただけで、恥ずかしい思いをしました。すらすら読める人を羨ましく思っていました。自分に自信が持てない時期が長く続きました。

私が自信を持って生徒のみなさんにアドバイスできることは、「自分らしく、飾らずに素直に自己表現」することです。私の場合、声の大きいことが特性ですから、間違っても動揺せず、言いたいことを短い言葉でキーワード化して、堂々と話すことを意識しながら訓練しました。

サッカー部のあいさつに代表される、爽やかで好感度の高い仁賀保高校生の言動に期待しています。人前で自己表現できる生徒になってほしいと願いつつ、自信のない生徒のみなさんには、私もかつて自信のない人間で、訓練をしながらなんとか現在に至っていることを暴露して、エールを送ります。自信のない自分自身を素直に表現してください。困ったら先生に相談しましょう。

仁賀保高校生のみなさんは、他校の生徒とは違うアドバンテージを持っています。それは、地域の方々から愛され、頼りにされている点です。このありがたい環境の中で、自分に自信が持てるような積極的な行動を期待しています。

再び振り返り

5つのキーワード覚えていますか！

- (1) アイコンタクト (i c o n t a c t) を心がけてください。目と目で通じ合うのみならず、「よく考えて行動する」という意味を理解して活動しましょう。
- (2) メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- (3) 意識力 = 意思・意志(瞬間) + 気力(持続)です。意識力を育成することで、学力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- (4) G T H は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- (5) 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？

